

京都観世会一月例会

令和3年1月10日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



主催 公益社団法人 京都観世会

翁 〈能〉

片山九郎右衛門

鶴 〈能〉

大江又三郎

亀

筑紫奥 〈狂言〉

茂山あきら

葛城 〈能〉

観世清和

小鍛冶 〈能〉

吉浪壽晃

大和舞

黒頭



文化庁

会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44 (東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み ☎ 075-771-6114 <http://www.kyoto-kanze.jp>

本公演は新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策を講じる為、1月例会前売券は12月10日より事務所・電話・WEBにて限定数での発売と致します。なお年間普通会員・6回会員の方は、事前予約なしでご入場いただけます。

前売券 (1階・2階自由席) 6,000円
学生券 (2階自由席) 3,000円

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

京都観世会館案内図



- ◆京都観世会館へは
 - J R京都駅から —
 - 市バス[5][100]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 徒歩約3分 (乗車時間約30分)
 - 地下鉄烏丸線「烏丸池駅」にて東西線に乗り換え「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
 - 阪急京都河原町駅から —
 - 市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車 徒歩約5分 (乗車時間約15分)
 - 京阪三条駅から —
 - 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 徒歩約3分 (乗車時間約7分)
 - 地下鉄東山線「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
 - J R二条駅から —
 - 地下鉄東西線「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
 - 山科・醍醐方面から —
 - 地下鉄東西線「東山駅」下車 (乗車時間約9~17分)
 - 地下鉄東西線「東山駅」から —
 - ①番出口から徒歩約5分
- ◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

京都観世会一月例会

翁

片山九郎右衛門
面箱茂山虎真
三番三茂山千之丞
千歳片山峻佑

鶴

鶴宮本茂樹
龜松野浩行
大江又三郎
從臣廣谷和夫
大臣福王和幸
從臣森本幸治
頭取林吉兵衛
官人丸石やすし

筑紫奥

丹波百姓 茂山あきら
筑紫百姓 茂山千五郎
奏者 茂山七五三

(二時四十分頃)

葛城

觀世清和 山伏是川正彦
山伏福王茂十郎
大和舞 山伏中村宜成
間 里人松本 薫

難波 林宗一郎
杉浦豊彦

(四時前)

小鍛冶

吉浪壽見
小鍛冶近原 大
黒頭 橋道成原 陸
間 下人井口竜也

附祝言

(終了予定 五時頃)

後見・地謡

大江信行 河村浩太郎
青木道喜 河村和貴
浦部幸裕 河村和重
河村博重

後見 井口竜也

後見 井口竜也

林宗一郎 河村和晃
杉浦豊彦 深野貴彦
橋本光史 井上裕久
河村晴道

樹下千慧
武田邦弘
橋本雅夫
越賀隆之

河村晴久 大江広祐
橋本擴三郎 梅田嘉宏
田茂井廣道 吉田篤史
浦田保親 片山伸吾

【お知らせ】

当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が手に触れる箇所には定期的な清掃・消毒を行っております。
「検温」「マスク着用」「咳エチケット」「手指消毒」のご協力をお願い申し上げます。
。発熱・咳など風邪症状のある場合は、ご来館前に医療機関にご相談ください。
。「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。
今後の状況変化により、催し物の内容変更または延期となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

解説

翁

数ある曲の中で別格とされる「翁」は、能が芸能として整う以前の祖型であり、新年を言祝ぐに最も相応しい神事である。舞台上に第一に登場するのは神体の翁面を運ぶ面箱持、それから直面の翁大夫、千歳、三番三、以下諸役が続く。「翁ワタリ」翁大夫は正先に出で深々と一礼し、笛座前に座し、面箱が前に置かれると、「とうとうたり...」と謡い出す。露役の千歳が颯爽とした「千歳ノ舞」を舞う間に白式尉の面を着けた翁大夫は「坐して居たれども」と謡い、大小前に立つて「天拜」地拝をし、祝祷の謡の後に莊重な「翁ノ舞」を舞い始める。三節の各終りに「天・地・人」の足拍子を踏み、舞台を一巡する。と再び「萬歳業」と天拝して舞い納める。面を外して面箱に置き、一礼して大夫は千歳と共に幕入りする。

葛城

出羽の羽黒山から出た山伏が大和国葛城山に入り、吹雪に遭う。すると一人の里の女が山伏に声をかけ、庵に案内する。また、この葛城山の雪の中で集め、束にした木々のことを「しも」と教え、それを解き火に焚いて動めを始めてみると、女は加持をして自分の苦しみを助けてくれと頼む。明王の素で身は葛城の神であり、昔、役行者に命ぜられた岩橋を架けられなかつたことを明かして消え失せる。その後山伏は里の者として(中入)る。昔、役行者が葛城の神に岩橋を架けることを命じたが、岩橋は自分の姿を恥じ夜しか仕事をしなかつたため橋が架からず、

鶴

新春、中国の王宮では群臣が皇帝の前に集い、節会が行われる。まず官人が口開をし、莊重な囃子(真之来序)で皇帝が現れ、玉座に座する。臣下がめでたさを讃え、鶴と亀が現れ、皇帝に長寿を捧げる。皇帝も御感の余り、自ら舞を舞い、輿に乗って長生殿に還御となる。「翁」に続く協能は、「高砂」のように神が姿を現す曲が多いが、この「鶴龜」は、「西王母」や「東北朔」と同様、大宮の中の皇帝のもとに、鶴と亀とが現われ、祝福を与えると思われる。芸態的に古いものと思われる。

役行者の怒りを買って、葛城で縛められたのだという話を聞く。夜、山伏が折祷しているところ、その法味に引かれて葛城の神が現れる。素により縛められた身も修法により解け、「高聞の原はこれ」ぞと大和舞を舞う。そしてまた「明けぬ先に」と葛城の神は夜が明けぬ先に岩戸のなかに消えてゆく。

小鍛冶

一糸帝は、黒髪を振り、剣を打てとの勅使を宗近の許へ下す。宗近は、それ程の大事の相繼がなければ成就しないと辞退するが、勅命には敵わず承引する。宗近が神力を頼みに稲荷童子に行き合う。不思議にも、この童子は、唐土と日本の剣の奇蹟譚を語り、中でも日本武尊が夷を退けた草薙の剣のことを、委しく仕方話に語ってみせる。宗近が不思議に思って名を尋ねると、剣を打つことを飾り整えて待てと言ひ、力を貸すことを約束して稲荷の方へ消えてゆく。

お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆《翁》が始まりましたら、一階見所へのお出入りをご遠慮いただきます。
- ◆許可なき写真撮影録音録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

【表紙写真】

《翁》片山九郎右衛門
金の星波辺写真場撮影

次回予告

京都観世会一月例会

令和3年2月28日(日)

午前11時開演

(能) 自然居士 井上 裕久
忍辱之舞

(狂言) 鴈 磔 茂山忠三郎

(能) 雲林院 河村 和重

(能) 吉野琴 浦田 保親